

公益財団法人とちぎ未来づくり財団 令和5年度事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの本財団の事業について、次の通り報告する。

概 要

当財団は、次代を担う子ども及び青少年の健全育成・福祉の増進に資すること並びに県民の生活に潤いと活力をもたらす文化の振興に寄与することを目的とし、公益性の高い各種事業の展開により地域社会に貢献している。

令和5年度においても、引き続き青少年健全育成事業、文化の振興に関する事業、埋蔵文化財の保護及び調査に関する事業などを、相互の連携のもと実施するとともに、県有施設である「栃木県総合文化センター」「栃木県子ども総合科学館」「栃木県立とちぎ海浜自然の家」「栃木県立なす高原自然の家」の指定管理者として、また「栃木県埋蔵文化財センター」の管理業務受託者として、各施設の機能を最大限に発揮できるよう適切な管理運営等に務めた。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に変更されてから1年余が経過し、人々の日常生活は以前の状態を取り戻したようにも見られるが、令和5年度の各施設の利用状況は、コロナ禍前の例年ベース比では9割程度で、完全な回復には至っていない。

加えて、円安等の影響に伴う物価高騰は、各施設の管理運営費に大きな影響を与えたことから、県から前年度に引き続き「栃木県エネルギー価格高騰対策指定管理者支援金」の交付を受けた。

当財団が指定を受けて管理運営を行う4施設のうち、「栃木県総合文化センター」、「栃木県立とちぎ海浜自然の家」、「栃木県立なす高原自然の家」については、令和5年度をもって当該指定管理期間満了となったが、令和6年度からの新たな指定期間について、公募を経て引き続き指定管理者として指定された。

I 事業の状況

A 次代を担う子ども及び青少年の健全育成並びに福祉の増進に資する事業

1 青少年健全育成事業〔栃木県青少年育成県民会議事業〕（公益事業1）※参考資料1参照

(1) 市町村民会議との連携強化、住民啓発促進に関する事業

青少年育成関係者が一堂に会する全体連携会議を実施することにより、市町村民会議や青少年関係団体等との連携強化を図った。また、県・市町・団体等の実施する青少年育成事業に共催や後援を行ったほか、事業に参加することにより連携を深めた。

ア 青少年育成市町村民会議支援

- ・市町村民会議の組織強化、活動支援

イ 青少年育成指導員活動支援

- ・育成指導員の活動支援

ウ 啓発資料作成

- ・「青少年とちぎ」の発行
- ・県民運動啓発物品等の作成

エ 青少年育成団体連携

- ・各青少年育成関係団体との連絡調整
- ・県、市町、団体等の実施する青少年育成関連事業への共催、後援及び参加

(2) 青少年の自立と社会参加活動の推進に関する事業

主体的に判断し行動できる資質や能力を身につけるための事業を行い、青少年の健全育成を図った。

ア 少年の主張発表大会（中学生 12,323 名参加）

- ・地区大会への助成 8 地区
- ・県大会の開催 9月16日 総合文化センターサブホール 地区代表 16 名
- ・全国大会への推薦 本県代表 星野みおりさん 努力賞受賞

イ 青少年育成県民会議表彰

- ・青少年育成に功績のあった団体、個人等の表彰 8 団体、29 名
- ・永年（20 年）賛助会員への感謝状の贈呈

ウ 親子学び合い（ネット時代の歩き方講習会）事業

- ・ネット時代をよりよく歩んでいくために必要な力や環境づくりについて考える講習会を小中学校等で開催 120 校 児童生徒 13,405 名、保護者 4,621 名受講

エ 親子学び合い講師フォローアップ研修

- ・講師養成講座を修了し、「とちぎネット利用アドバイザー」として認定した者を対象としてステップアップのための研修を開催 3 回

オ 青少年育成セミナー

- ・青少年育成関係者を対象に青少年問題の現状や課題について考えるセミナーを開催 2 回

(3) 「とちぎ心のスクラム県民運動」推進事業

青少年育成運動の一層の推進を図るため、県や市町、教育委員会、県警察本部など関係団体との連携を強化し、県民運動推進体制の整備を図った。

ア 「家庭の日」推進

- ・「家庭の日」絵日記コンテストの実施（1,508 点応募）
- ・入賞作品の展示
（県庁、県立博物館、子ども総合科学館、ミナテラスとちぎ、なかがわ水遊園）
- ・啓発カレンダーの作成（3,400 部）

2 栃木県子ども総合科学館管理運営事業（公益事業1）※参考資料2参照

子どもの科学への関心を高める魅力的な事業展開を図り、科学技術普及啓発施設としての役割を果たすとともに、大型児童館として県内児童館への技術支援等を行った。

また、令和6年1月から大規模改修工事のため屋内施設を休館とし、休館前にはこれまでの科学館の取組を振り返る特別イベントを実施した。

	令和5年度	令和4年度	対比(%)
総利用者数	440,104人	500,622人（388,052人）	87.9（113.4）
有料入館者数	208,983人	227,804人（179,511人）	91.7（116.4）
収入金額（税込）	58,441,670円	62,051,080円（48,188,400円）	94.2（121.3）

※令和5年度は、大規模改修工事のため令和6年1月から3月まで屋内施設を運営休止

（ ）内は令和4年度4月から12月実績

(1) 展示場の運営および各種教室の実施に係る事業

- ア 展示品の解説やサイエンスショーによる科学現象の紹介等（随時）
- イ 企画展の開催 7月22日～8月27日 32日間 29,293名参加
子どもたちに親しみやすいビー玉を使い、全展示品を体験型とした企画展を開催
※テーマ：「ビー玉でサイエンス みらいくんのコロコロワンダーランド」
- ウ ロボット・チャレンジ2023 11月4日 212名参加
ものづくりを楽しむ機会として、青少年を対象とした自作ロボットによる競技会を実施
- エ 科学フェスティバル 12月2日・3日 3大学・4企業との連携
県内大学や企業等と連携して、子どもたちが実験や工作などを通して科学技術等を体感できるイベントを屋台村形式で開催
- オ 各種教室の実施
「科学工作教室」、「ミニ工作」、「移動科学教室」、「出張サイエンスショー」等を実施

(2) プラネタリウム及び天文台の利用に係る事業

- ア プラネタリウム投影
 - ・星空と人びととのつながりを紹介する当館オリジナル番組や、宮沢賢治の作品を取り上げた番組など一般向け番組を年間3本投影
 - ・テレビ番組で人気のキャラクター・チョコちゃんが星空の不思議や疑問を紹介する番組など年少向け番組を年間2本投影
 - ・学校教育向けの学習番組やライブ特別番組（星空さんぽ、星と音楽のひととき等）を投影
- イ 天文台の活用及びその他の天文普及活動
 - ・「星をみる会」を17回実施 主に土・日曜の夜
 - ・昼間でも見ることができる天体や太陽の観察を行う「天文台公開」を16回実施
 - ・屋外広場を活用した「太陽をみる会」を5回実施（令和6年1月からの屋内休館への対応）
 - ・星の動きを観察し記録する「天文教室」やプラネタリウムを手作りする工作教室を3回実施

(3) 児童厚生施設としての利用に係る事業

- ア 体験・育成事業
 - ・「工作のテイクアウト」や「ちょこっとワークショップ」を実施（随時）
 - ・「おしごとラボカンパニー」や「パズルの日」、「おりがみであそぼう」を月1回実施
 - ・屋外広場を利用した「忍者道場」や「ウォーターバトル」など体をつかう遊びを実施
 - ・親子プログラムとして、未就園児の親子を対象とした「まめっこタイム」を月2回実施
- イ 県内児童健全育成団体等への援助・指導、連絡調整等の事業
 - ・県内児童館や放課後児童クラブ、子育てサークル等への「あそびの出前」を25回実施
 - ・県内児童館と連携協力して行う「あそびの連携事業」を3回実施
- ウ 乗り物広場の運営及び屋外遊具の管理
 - ・変わり種自転車（32種80台）やミニ機関車の運営、及び屋外遊具等の安全点検の実施

(4) 大規模改修に関連する事業

- ア 科学館休館前特別イベント
大規模リニューアルにあたり、既存展示物等を楽しむとともに、開館からこれまでの35年間を記憶に残してもらえよう休館前特別イベントを実施した。
 - ・謎解きイベント「科学の国の未来くん」 10月～12月 6回実施 814名参加
館内を回遊しながら展示品の様々な謎を解き明かし、科学への理解を深めるイベント

- ・忍者道場～番外編終～ 12月10日 142名参加
子どもたちから人気が高い「忍者道場」の特別版を実施
 - ・リニューアル休館前のクロージング事業 10月～11月 3回実施 209名参加
「ナイトミュージアム・バックヤードツアー」など3プログラムを実施
 - ・スペシャルサイエンスショー 12月23日、24日、27日
人気の高いメニューを複数組み合わせ合わせたサイエンスショーの特別版を3回/日実施
 - ・プラネタリウム特別番組「星空さんぽ 科学館お休み中の星空 2024-2025」 12月27日
休館中の2024～2025年に起こる天文現象や季節の星空を特別番組として投影。最終投影後、撤去される投影機器を自由見学できるようにプラネタリウム施設を開放
- イ 広報活動の充実
これまでの歩み等を掲載したアーカイブサイト開設、SNS（公式X）による情報発信
- ウ 大規模改修工事の円滑な実施のための栃木県や工事業者との緊密な連携調整

3 栃木県立とちぎ海浜自然の家管理運営事業（公益事業1）※参考資料3参照

栃木の子どもたちに海の自然や文化に触れさせる「海の分教場」、幅広い利用者に多様な学習の場を提供する「生涯学習施設」としての役割を果たし、「とちぎの海のふるさと」として県民に愛される施設を目指した管理運営を行った。

大規模改修工事のため、令和5年1月から6月まで休所、7月から9月まで一部休所、10月以降フルオープンとした。

	令和5年度	令和4年度	対比(%)
延利用者数	35,576人	39,599人	89.8
収入金額（税込）	29,102,011円	35,387,579円	82.2

※令和4年度は、大規模改修工事のため1月から3月まで休所、令和5年度は4月から6月まで休所、7月から9月まで一部利用制限

(1) 臨海自然教室事業

実施時期：7月～3月

対象：栃木県内の小学校、県立盲・聾・特別支援学校（小学部）の児童

延べ利用者数：28,193名（昨年度利用者数：27,873名）

内容：栃木県の小学5年生を対象に、海辺での集団宿泊や自然活動など、様々な体験的な学習を教育活動の一環として実施した。また、活動プログラムの提供を行うとともに実施に当たっての指導助言などを行うことにより、安全に有意義な体験活動が行えるよう支援した。

(2) 各種団体受入事業

実施時期：通年

対象：学校、企業、各種団体等

延べ利用者数：7,383名（昨年度利用者数：11,726名）

内容：県内外の学校教育・社会教育団体や企業等を受け入れ、研修、交流活動、家族の触れ合い活動等を支援した。また、施設・備品等の貸出しや活動プログラムの提供や活動に対する助言を行うことにより、安全に有意義な生涯学習活動が行えるよう支援した。

(3) 主催事業

周辺の自然環境を活かし、教育施設としての目的に合致した企画事業を実施した。

全10事業、総参加者数：1,050名（昨年度参加者数：925名）

ア 海浜夏まつり

イ 海浜初日の出

ウ とちぎ・いばらき協力！世界一への挑戦！ ほか

4 栃木県立なす高原自然の家管理運営事業（公益事業1）※参考資料4参照

山の自然や文化に触れさせる「山の分教場」、那須高原に位置する「生涯学習施設」として、周辺の豊かな自然を活用した青少年の団体宿泊学習や県民の多様な団体活動を支援することにより、青少年の健全育成と生涯学習の振興を図った。

また、地域との連携、SDGs、体験活動の啓発・推進などを盛り込んだ「グランドデザイン2023」を作成し、情報発信に努めるとともに、新規主催事業の実施や活動プログラムの開発を通して新しい利用者層の開拓を図った。

	令和5年度	令和4年度	対比(%)
延利用者数	30,138人	25,376人	118.8
収入金額（税込）	26,482,700円	20,727,930円	127.8

(1) 各種団体受入事業

栃木県内外の学校、社会教育団体等に研修の場を提供した。また、施設、備品等の貸出し、活動プログラムの提供や活動に対する助言を行うことにより安全で有意義な生涯学習活動が行えるよう支援した。

実施時期：通年

対象：研修を目的とした団体・グループ

内容：登山・ハイキング、野外・自然体験活動、スポーツ・レクリエーション活動、創作活動、調理活動、その他の活動

延べ利用者数：30,138名（昨年度利用者数：25,376名）

(2) 主催事業

周辺の自然環境を活かし、社会教育施設としての目的に合致した企画事業を実施した。

全11事業、総参加者数：406名（昨年度参加者数：316名）

ア ふれあい登山教室

イ とちぎ「の家」体験ツアー

ウ ふれあい広場 ほか

B 県民の生活に潤いと活力をもたらす文化の振興に寄与する事業

5 文化の振興に関する事業（公益事業2）※参考資料5参照

県民文化の振興と文化活動の支援のため、良質な舞台芸術の鑑賞型事業と県民の文化活動への参加・創造・交流型事業を実施した。特に今年度は「栃木県誕生150年」にあたるため、様々な公演を記念事業に位置づけ実施した（42事業91公演）。

(1) 自主財源による文化事業

財団主催の各種文化事業及び民間事業団体等との各種共催事業等を実施した。

ア 主催事業（8事業15公演）

・平日の贈り物♪ランチタイムコンサートシリーズ 全4回

・狂言 万作の会

・反田恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラ

- ・【栃木県誕生150年記念】「NHKのだ自慢」 ほか
- イ 共催事業（21 事業 41 公演）
- ・劇団四季ミュージカル「人間になりたがった猫」
 - ・フジコ・ヘミングスペシャルコンサート
 - ・キーウ・クラシック・バレエ「白鳥の湖～全2幕～」 ほか

(2) 栃木県補助金等による文化事業

ア 鑑賞型事業（1 事業 2 公演）

- ・【栃木県誕生 150 年記念】松竹大歌舞伎公演

イ とちぎ舞台芸術アカデミー（参加創造交流型文化事業）（10 事業 29 公演）

- ・【栃木県誕生 150 年記念】第 3 回栃木県新人音楽家演奏会
- ・【栃木県誕生 150 年記念】第 27 回『コンセール・マロニエ 2 1』（ピアノ部門）
- ・学校訪問演奏会『音楽って素晴らしい！学校でこんにちは！』（塩谷南那須・那須地区）

ほか

ウ 栃木県受託事業等（2 事業 4 公演）

- ・【栃木県誕生 150 年記念】とちぎのアーティスト元気発信ステージ
- ・【栃木県誕生 150 年記念】とちぎの若手アーティスト元気発信作品展
- ・とちぎアーティストバンク管理・運営事業

6 埋蔵文化財の保護、調査研究及び普及啓発に関する事業（公益事業 3）※参考資料 6 参照

県及び国、県内市町の委託を受けて、開発地内等の埋蔵文化財の発掘調査事業を実施するとともに、栃木県からの委託により、埋蔵文化財センターの施設の管理並びに、埋蔵文化財の保存・活用及び埋蔵文化財についての知識の普及に関する事業を行った。

(1) 埋蔵文化財発掘調査事業（発掘調査及び整理作業件数 16 件）

ア 県からの受託事業

- ・いにしえのとちぎ発見どき土器わく湧くプロジェクト／侍塚古墳（大田原市）
- ・道路整備事業 城ノ内遺跡（上三川町）ほか
- ・農地整備事業 小泉分校裏遺跡・山根遺跡ほか（益子町）
- ・遺跡確認調査 農地整備事業に係る事前確認調査（塩谷町ほか）

イ 国からの受託事業（国土交通省）

- ・国道整備事業 塚原遺跡・塚原古墳群（矢板市）

ウ 市町からの受託事業

- ・栗宮新都心区画整理事業（小山市）
- ・佐野市遺跡詳細分布調査（佐野市）ほか

(2) 栃木県埋蔵文化財センターの管理及び埋蔵文化財の保存活用・普及啓発事業

ア 埋蔵文化財に関する情報収集及び提供

- ・県内外の埋蔵文化財に関する報告書等を収集、整理、保管し、図書室で公開
- ・遺物、図面、写真等の貸出
- ・県内市町の発掘情報を収集し埋蔵文化財センターだよりに収録
- ・埋蔵文化財センターだより、とちぎ発掘調査成果情報誌等の印刷物による情報発信
- ・ホームページやSNS等による情報発信

イ 埋蔵文化財に関する普及啓発

- ・展示 常設展及び年 4 回の企画展ほか
- ・講座・講演会 特別講演会、企画展講座ほか

- ・施設公開 バックヤードツアー、埋蔵文化財センター特別公開
- ・説明会・見学会 現地説明会、史跡見学会、学校・団体のセンター見学
- ・出前授業 学校・公民館等への出前授業・講座講師

ウ 研修

- ・埋蔵文化財担当者研修会 市町の埋蔵文化財担当者等を対象とした研修会の開催
- ・ボランティア研修 普及事業に協力するボランティアのスキルアップ研修の実施

エ 埋蔵文化財に関する出土品の資料管理

- ・出土品や記録した図面、写真、デジタルデータ等の保管管理
- ・退色する可能性のあるカラースライドフィルム等のデジタルデータ化

(3) 保存処理業務

埋蔵文化財センターが保管する金属製品のうち、未処理及び再処理の必要な 335 点について、業務委託により保存のためのクリーニング、接合、復元等の処理を実施した。

7 栃木県総合文化センター管理運営事業（収益事業）※参考資料7参照

県内文化振興の拠点施設である栃木県総合文化センターの利用受付・打ち合わせ、利用者及び来館者サービス事業、施設維持管理業務、危機管理対策及び事業評価等を行った。

(1) 利用状況

項目	令和5年度	令和4年度	対比(%)
利用率			
メインホール	63.0	61.8	1.2
(%) サブホール	73.0	73.8	△0.8
ギャラリー	59.9	59.1	0.8
会議室	56.1	59.7	△3.6
練習室	65.1	62.3	2.8
利用料金収入（税込）	128,188,760円	129,414,980円	99.1
らくらくサービス収入（税込）	10,143,590円	11,432,110円	88.7

コロナ禍を経て文化団体の減少や活動の小規模化等が見られたため、利用率及び利用料収入ともにコロナ禍以前の水準には回復していない。特に会議室の利用率が前年度と対比して大きく減少したが、これは令和4年11月に開館した「宇都宮駅東口交流拠点施設 ライトキューブ宇都宮」の影響が大きいと考える。

(2) 施設利用受付・打ち合わせ業務

ホール、ギャラリー、会議室、各種練習室等の利用受付及び打合せを行なった。

(3) 利用者及び来館者サービス業務

「イベントカレンダー」の発行、ホームページやメールマガジン等による催事情報の提供を行うとともに、文化団体や企業向けに施設利用促進を図る広告、広報活動を行なった。

施設利用のアドバイスのほか、利用者のニーズに合わせてケータリングや会場設営などのサービスを提供する「らくらくサービス」事業を実施した。

(4) 施設の維持管理業務

利用に支障が生じないよう各種設備の保守点検を定期的に行うとともに、快適な館内環境を維持するため関連設備・備品等の適切な管理を行なった。また、必要に応じ工事及び修繕を行った。

(5) 危機管理対策

来館者の安全を守るため、防災設備等の保守点検及び消防訓練を実施するとともに、危機管理マニュアルの点検を行った。

また、中央警察署との合同により、不審物発見時の対応、不審者侵入時の対応、110番通報訓練避難誘導訓練及びさすまた取扱訓練等を行った。

(6) 事業評価

利用者に快適に利用いただくため、利用者及び来場者アンケートの実施、利用者グループインタビューの実施等に基づく事業評価を実施し、更なるサービス向上に努めた。

(7) 大規模改修後の対応

施設の適切な維持管理を行うことを目的として、大規模改修工事に続く中長期修繕計画を策定し、工事実施の必要性について積極的に県に提案を行った。

C 指定管理者の指定の更新

栃木県総合文化センター、栃木県立とちぎ海浜自然の家、栃木県立なす高原自然の家 3施設について指定管理者の申請を行い、3月19日付けで県から指定を受けた。

- ・ 栃木県総合文化センター 令和6年4月1日から令和16年3月31日まで 10年間
- ・ 栃木県立とちぎ海浜自然の家 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで 5年間
- ・ 栃木県立なす高原自然の家 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで 5年間

D 広報活動に関する事業

- ・ 財団のメインホームページをリニューアルして各施設・事業の情報をより分かりやすく発信できるようにしたほか、財団のPR動画を作成して公開した。
- ・ 新聞や情報誌等広報媒体を活用し、施設や財団事業案内の広報を行った。
- ・ 財団発行の広報誌による活動として、「青少年とちぎ」（年2回発行）や「イベントカレンダー」（年6回／総合文化センター）、「埋蔵文化財センターだより」（年2回／埋蔵文化財センター）などを発行し、関係機関及び県民に配布した。
- ・ インターネットによる活動として、各事業所で独自にホームページ及びSNSを活用して情報発信をしたほか、総合文化センターの事業等の最新情報をメールマガジンにて、毎月1回1,032名の登録者（3月31日現在）に発信した。

E その他目的を達成するために必要な事業

- ・ 総合文化センターにおいては、県内22の公立文化施設で構成する栃木県公立文化施設協議会の運営事務局として、全国他県の動向など、各種情報の提供及び管理・技術関係の研修会を開催するなど、県内の公立文化施設の運営に関して指導・助言を行った。
- ・ 子ども総合科学館においては、栃木県児童館連絡協議会（県内42児童館で構成）の事務局として、児童館相互及び児童館職員間の連絡・交流活動、全国の動向などの情報提供、児童館運営や職員の資質向上に関する各種研修会の開催などを行った。
- ・ 埋蔵文化財センターにおいては、前年度に引き続き、全国47の埋蔵文化財法人で構成する「全国埋蔵文化財法人連絡協議会」に所属し、役員法人（監事）並びに関東ブロック副会長法人として活動した。

II 処務の概要

1 役員等に関する事項

令和5年度中における役員等の異動は、次のとおりであった。

(1) 理事の異動状況

① 就任

氏名	就任年月日	備考
篠崎 岳彦	令和5年4月1日	栃木県生活文化スポーツ部次長兼県民協働推進課長
長野 辰男	令和5年4月1日	栃木県教育委員会事務局生涯学習課長
(一斉改選) : 任期は令和7年度に開催の定時評議員会の終結の時まで)		
千金楽 宏	令和5年6月26日	公益財団法人とちぎ未来づくり財団理事長
野中 正知	令和5年6月26日	公益財団法人とちぎ未来づくり財団常務理事兼事務局長
青木 榮二	令和5年6月26日	栃木県青少年育成指導員会会長
池澤 真司	令和5年6月26日	栃木県総合文化センター館長
稲見けい子	令和5年6月26日	とちぎミュージカル協会会長
金田 淳	令和5年6月26日	公益社団法人日本PTA全国協議会理事
篠崎 岳彦	令和5年6月26日	栃木県生活文化スポーツ部次長兼県民協働推進課長
長野 辰男	令和5年6月26日	栃木県教育委員会事務局生涯学習課長
水越 久夫	令和5年6月26日	栃木県交響楽団理事長

② 退任

氏名	退任年月日	備考
(任期満了)		
千金楽 宏	令和5年6月26日	公益財団法人とちぎ未来づくり財団理事長
野中 正知	令和5年6月26日	公益財団法人とちぎ未来づくり財団常務理事兼事務局長
青木 榮二	令和5年6月26日	栃木県青少年育成指導員会会長
池澤 真司	令和5年6月26日	栃木県総合文化センター館長
稲見けい子	令和5年6月26日	とちぎミュージカル協会会長
金田 淳	令和5年6月26日	公益社団法人日本PTA全国協議会理事
篠崎 岳彦	令和5年6月26日	栃木県生活文化スポーツ部次長兼県民協働推進課長
長野 辰男	令和5年6月26日	栃木県教育委員会事務局生涯学習課長
水越 久夫	令和5年6月26日	栃木県交響楽団理事長
池澤 真司	令和6年3月31日	栃木県総合文化センター館長

(2) 評議員の異動状況

① 就 任

氏 名	就任年月日	備 考
大森 豊 三浦 一久	令和5年4月1日 令和5年6月26日	栃木県教育委員化事務局教育次長（管理） 下野新聞社論説委員長

② 退 任

氏 名	退任年月日	備 考
久保 正洋 野原 恵美子	令和5年6月26日 令和6年3月31日	下野新聞社元論説委員長 栃木県生活文化スポーツ部長

2 役職員数に関する事項

(令和6年3月31日現在)

(1)役員等

役職名	常勤	非常勤	計
理事長	1		1
常務理事	1		1
理事		7	7
監事		2	2
評議員		9	9
計	2	18	20

(2)職員

所 属	職 名	県派遣職員	財団職員	財団嘱託員 臨時職員	計	備 考
本部事務局 (栃木県総合 文化センター を含む)	事務局長				0	(常務理事兼務)
	館長				0	(理事兼務)
	副館長		1		1	
	課長	1	3		4	
	副主幹		3		3	
	主査		2		2	
	主任		4		4	
	主事		5		5	
	常勤嘱託員			6	6	
	非常勤職員			3	3	
臨時職員			3	3		
	小 計	1	18	12	31	
栃木県子ども 総合科学館	館長		1		1	
	副館長	1			1	
	課長	1	3		4	
	副主幹		1		1	
	係長	1	1		2	
	主査	1	2		3	
	主任	1	2		3	
	主事		3		3	
	常勤嘱託員			6	6	
	非常勤職員			19	19	
臨時職員			1	1		
	小 計	5	13	26	44	

所 属	職 名	県派遣職員	財 団 職 員	財 団 嘱 託 員 臨 時 補 助 員	計	備 考
栃木県立とちぎ海浜自然の家	所 長		1		1	
	副所長兼課長		1		1	
	課 長	1			1	
	主 任	2			2	
	指導主事	7			7	
	指 導 員		9		9	
	常勤嘱託員			3	3	
	臨 時 職 員			2	2	
	小 計	10	11	5	26	
栃木県立なす高原自然の家	所 長		1		1	
	副 所 長	1			1	
	副 主 幹	1			1	
	社教主事	2			2	
	指 導 員		2		2	
	常勤嘱託員			4	4	
	小 計	4	3	4	11	
栃木県埋蔵文化財センター	所 長		1		1	
	副所長兼課長		2		2	
	課 長		2		2	
	副 主 幹		6		6	
	主 査		1		1	
	主 任		1		1	
	技 師		2		2	
	常勤嘱託員			10	10	
	臨 時 職 員			10	10	
小 計	0	15	20	35		

合 計	20	60	67	147	
-----	----	----	----	-----	--

3 理事会及び評議員会の開催状況

(1) 理事会

開催年月日等	議 事 事 項	会議の結果
第46回理事会 令和5年6月8日	第1号議案 令和4年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団事業報告について 第2号議案 令和4年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団収支決算報告について 第3号議案 評議員及び役員の候補者について 第4号議案 公益財団法人とちぎ未来づくり財団規程の一部改正について 第5号議案 第31回評議員会の招集及び提出議題について 報告 職務の執行状況について	可決（賛成7） 可決（賛成7） 可決（賛成7） 可決（賛成7） 可決（賛成7）
第47回理事会 令和5年6月26日	第1号議案 公益財団法人とちぎ未来づくり財団理事長及び常務理事の選定について	可決（賛成9）
第48回理事会 令和5年11月10日	報告第1号 職務の執行状況について 報告第2号 次期指定管理者の選定状況について 第1号議案 令和5年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団収支補正予算案について 第2号議案 第32回評議員会の招集及び提出議題について	可決（賛成8） 可決（賛成8）
第49回理事会 令和6年3月5日	報告第1号 指定管理者の選定結果について 報告第2号 法人の基本理念等の再構築について 第1号議案 令和6年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団事業計画案について 第2号議案 令和6年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団収支予算案について 第3号議案 評議員及び役員の候補者について 第4号議案 公益財団法人とちぎ未来づくり財団規程の一部改正について 第5号議案 第33回評議員会の招集及び提出議題について	可決（賛成9） 可決（賛成9） 可決（賛成9） 可決（賛成9） 可決（賛成9）

(2) 評議員会

開催年月日等	議 事 事 項	会議の結果
第31回評議員会 令和5年6月26日	報告第1号 令和4年度公益財団法人とちぎ未来 づくり財団事業報告について 第1号議案 令和4年度公益財団法人とちぎ未来 づくり財団収支決算報告について 第2号議案 評議員及び役員の選任について	可決（賛成8） 可決（賛成8）
第32回評議員会 令和5年12月6日	報告第1号 令和5年度上半期公益財団法人とち ぎ未来づくり財団事業報告について 報告第2号 次期指定管理者の選定状況について 第1号議案 令和5年度公益財団法人とちぎ未来 づくり財団収支補正予算案について 第2号議案 役員の報酬等について	可決（賛成6） 可決（賛成6）
第33回評議員会 令和6年3月27日	報告第1号 指定管理者の選定結果について 報告第2号 法人の基本理念等の再構築について 第1号議案 令和6年度公益財団法人とちぎ未来 づくり財団事業計画案について 第2号議案 令和6年度公益財団法人とちぎ未来 づくり財団収支予算案について 第3号議案 評議員及び役員の選任について 第4号議案 役員の報酬等について	可決（賛成8） 可決（賛成8） 可決（賛成8） 可決（賛成8）

4 寄付金に関する事項

寄附の目的	寄附者	寄附申込額	領収金額	備考
青少年健全育成活動推進	株式会社栃木銀行	80,000	80,000	
青少年健全育成活動推進	菊池宏行 氏	500,000	500,000	
青少年健全育成活動推進	栃木県更生保護女性連盟	100,000	100,000	
青少年健全育成活動推進	栃木県社会教育振興協議会	50,210	50,210	
計		730,210	730,210	

事業報告付属明細書

令和5年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。